

穂高PTAだより

発行日 令和8年3月1日

穂別高校PTA研修委員会



C
O
N
T
E
N
T
S

・ご卒業おめでとうございます	PTA会長	横山 貴仁	2ページ
・「読み解く」喜びと本質を見抜く眼 ～三年の歩みが紡いだ知の基盤～	校長	福田 敦	2ページ
・未来へ	3学年主任	折原 拓真	3ページ
・進路活動を振り返って	進路指導部長	小柳 雄彦	3ページ
・最後の生徒会長として	生徒会長	田中 聖樹	4ページ
・最高学年に向けて	2学年主任	印部 拓人	4ページ
・令和7年度 PTA事業報告			4ページ
・PTA研修委員			4ページ

「卒業おめでとう」ございます

PTA会長 横山 貴仁



卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんは、この歴史ある学び舎で、勉強だけでは無く、人との関わりや、自分自身と向き合う時間を重ねてきました。思い通りにいかない日もあったかと思いますが、その一つひとつの経験が皆さんの土台となり、これからの人生を支えてくれるはずです。

ここからは、それぞれ異なる道へと進んでいきます。不安や迷いを感じることもあるでしょう。しかし、思いもよらない壁にぶつかったときは、立ち止まり、ここで出会った仲間や支えてくれた先生方の言葉を思い出して、小さな一歩でも前へ進む気持ちを大切にしてほしいと思います。

穂高高校での学校生活は、人数の多さでは測れない濃い日々だったと思います。顔が見える関係の中で、互いに支え合い、認め合いながら成長してきた皆さんの姿を、先生方を始め保護者の皆さん、地域の方々も見守ってきました。

この先、どこへ行っても、穂高高校で学んだことを忘れずに、たった10人で過ごした3年間でどれだけ自己研鑽できたか分かります。自分の道を突き進んでほしいと願うところです。

最後に、穂高高校は来年度をもって閉校となりますが、変わらぬご支援を引き続きよろしくお願いたします。

「読み解く」喜びと本質を見抜く眼

「三年の歩みが紡いだ知の基盤」

校長 福田 敦



卒業生の保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。保護者の皆様におかれましては、お子様が

終え、立派に成長された姿を前に、感慨もひとしおのこととお慶び申し上げます。本校の教育活動に対し、長きにわたりご理解とご協力を賜りましたこと、教職員を代表して厚く御礼申し上げます。振り返れば、この一年間も生徒たちは実に多くの

の場面で力を発揮してくれました。特に印象深いのは「穂高×〇〇探究プロジェクト成果報告会」です。地域発展の方策について、具体的な取組と成果を、自らの言葉で堂々と発表する姿には目を

見張るものがありました。質問に対して的確に

応じるなど頼もしい様子で、出席者からも高く評価されました。また、屋内競技大会では和やかな空気感の中でバレーやバスケット、そしてポツ

チャといった競技を行い、互いを尊重し合いながら笑顔で行うなど、温かさが垣間見えました。

私は年齢のせい、最近では公私ともに幸福を実感することが多いのですが、そんなときによく思い出するのは、幕末の歌人・橘曙覧の『独楽吟』です。「たのしみは」から始まる五十二首の歌が並ぶ小さな本で、そこには日常の幸福をスケッチしたような素朴な喜びが光っています。その中の一つに、次のような一首があります。

「たのしみは 世に解きたくする書の心をひとり さとり得し時」

「楽しみとは、世の中では難解と言われている書物の真意を、自分の力で理解できた時にある」という意味です。これは読書の喜びに留まらず、未知の課題に対して、その本質を見抜いて答えを出していく喜びを説いている気がします。探究活動で地域課題に挑んだプロセスも、まさに「世に解きたきをさとり得る」ようにしながら、地道に努力を重ねていくものでした。

現代は、真実と見紛うような「FAKE(偽り)」が溢れ、人々の感情を揺さぶり、判断を誤らせかねない不透明な時代です。こうした中で、情報の表面に踊らされず真実を掴む力は、単なる暗記の量ではなく、本校での三年間で培った「洞察力」と、思考の土台となる「確かな知の基盤」がなければこのものではありません。自ら問い、語り、悩み抜いた経験こそが、正解のない社会において、自らの道を選び取るための武器となると思います。

これまでの日々、お子様が迷い、立ち止まった瞬間もあったことでしょう。しかし、その試行錯誤こそが、自らを養うための大切な時間でした。そして保護者の皆様は答えを急かさず、その可能性を信じて寄り添い続けてくださったからこそ、自信を持って巣立っていただけるのだと思います。橘曙覧が詠んだような、困難な問題の本質を見抜く喜びを胸に、生徒たちが自信を持って歩んでいくことを切に願っております。三年間、本当にありがとうございました。そしてこれからも、本校の「応援団」として、変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

卒業担任より 未来へ

三学年主任 折原 拓真

3月1日に3学年10名が無事卒業を迎えることができるのも、保護者の皆様、地域の皆様、教育関係者の皆様の支えあつての事であると確信しています。様々な場面で本校の教育活動にご協力いただき誠にありがとうございます。

3年生の諸君、4月からは、また新たな場所、立ち位置での出発になります。新しい環境が苦手な君たちにとっては試練の4月になると思いますが、今までの経験を糧にして頑張ってください。どの道に進むにしても挨拶と返事をしない人、身だしなみがだらしない人は周囲から見放されていきます。マナーやモラルを大切に、健康第一で頑張ってください。応援しています。

3年間、とても豊かな時間を過ごさせてくれてありがとう！そして、卒業おめでとう!!



進路活動を振り返って

進路指導部長 小柳 雄彦

今年度の3年生の進路は、進学希望と就職希望が半々の状況でした。

3年生の進路の実現にむけ、5月から面接指導に取り組み、下地を作ることができました。

今年も、夏休み前までの期間は学校行事と並行して進路活動を行いました。毎年慌ただしい時期ですが生徒は期待にこたえてくれました。

また、例年通り郵送や持ち込みで受けた求人票を整備し公開しました。

今年度も生徒の希望する求人を得ることができ、第一希望の企業を受験し、内定を頂くことが出来ました。受験前には、応募前企業見学に参加してもらいました。

進学希望者は、総合型選抜、指定校推薦、一般受験と各生徒受験方法は様々でしたが希望者全員が合格することが出来ました。

2年生は例年通り10月にインターンシップを行い、職業観を育成することが出来ました。

3年生の進路決定状況

	決定者数
私立大学	4
専門学校	1
公務員	1
民間就職	2
未決定	2
合計	10

(令和8年2月現在)

進路相談室の活用は、掲示物に優先順位をつけて定期的に入れ替えました。備え付けの生徒用プリンタは昨年にも増して有意義に活用することが出来ました。来年度も進路相談室の活用についての改善に取り組む、より使い易い環境を提供していきたいと思えます。今年の3学年の進路状況は左記の通りです。来年度もできる限り各生徒に合った進路指導ができるよう、皆様方からのご協力・助言をお願い申し上げます。

新生徒会の抱負

最後の生徒会長として

生徒会長 田中 聖樹

次年度閉校を迎える穂別高校で、新生徒会長を務めることになりました。田中聖樹です。次年度からは在校生は私一人ですが、だからこそこの学校で過ごす1日1日を大切にしたいと考えています。

次年度からの一人での高校生活で、苦手なことや一人で苦しいことに沢山出会うと思いますが、諦めず先生方と協力しあって乗り越えていきたいと思えます。学校行事や学習では一人だからこそ挑戦できることなどにトライし、貴重な時間を有意義に活用しながら日々頑張る所存です。

この抱負を実現できるように、小さいことも妥協せず、閉校までの時間を大切にしながら最後まで全力で取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。



学年主任の先生から

最高学年に向けて

一学年主任 印部 拓人

高校生活の半分以上が過ぎ、ついに最高学年になろうとしています。2年生ではインターンシップや見学旅行などの高校生活でのビッグイベントが終了し、その中で着実に成長してきたように感じます。この成長を無駄にせず、残りの高校生活を送ってほしいと思います。

いよいよ4月からは3年生、勝負の1年が始まります。穂別高校最後の生徒として忙しい日々を送り、様々な壁にぶつかることが予想されますが、これまでの2年間で培った「やり抜く力」があれば必ず乗り越えられると思います。きみの志望を実現できるように先生方もサポートしますが、最終的には自分自身の頑張りにかかっています。行事や進路活動等、先生方と協力し、共に協力しながら最後の1年に臨みましょう。



令和7年度 PTA事業

(令和7年10月～令和8年3月)

11月21日(金) むかわ町PTA連合会研究大会・講演会
(むかわ町 福田校長参加)

3月1日(日) PTAだより発行

3月下旬予定 第2回PTA役員会



編集 PTA研修委員

委員長 上山 貴子
委員 光杉 かつら